



東三河はひとつ！居住支援協議会設立始動！！

2017年10月に「民間賃貸住宅や空き家を活用した新たな住宅セーフティネット制度」が施行され、その後、私たちNPO法人たすけあい三河も、2018年6月に居住支援法人となり、住まいを必要とするセ

ーフティネットにある方々が地域で安心して暮らせる場の提供やケアサポートを行い、現在があります。2024年4月、居住支援協議会設立窓口が今までの行政だけ

なく、NPOにも開放される機会を得て、これを好機ととらえ、5月国交省に応募し、一回り大きな仕組みとして、「豊橋・東三河居住支援協議会」の設立を令和7年(2025年)をめざし

て行動を起こしています。東三河各市町村の福祉・住宅課との情報の共有・連携強化を図り、居住に困難を抱える人々への必要な支援が届く様に不動産業界、福祉介護業界とともに

スクラムを組み取り組んでいくものです。今後、3回の居住支援フォーラムにより地域喚起を行うと同時に、不動産事業者と福祉介護事業者との意見交換会(勉強会

&交換会)を月1回のピッチで実施していきます。10月13日(日)第5回居住支援フォーラムは豊橋市民センター(カリオンビル)で実施され、不動産業者や福祉介護事業者、生活困窮者

支援団体など熱のこもった意見交換がされました。中京大学教授で日本居住福祉学会会長の岡本祥浩氏の「居住福祉をめざして」はYouTubeパブリシティTVで現在放映中です。今回は、11月30日(土)

第6回居住支援フォーラム「誰ひとり取り残さない地域社会をつくりたい」を前回同様に豊橋市民センター(カリオンビル)で予定しています。詳しい情報申し込みは専用リーフレットをご覧ください。

※HOKOKUは3世紀の東三河の呼称をいう。豊橋・東三河居住支援協議会の構成員は、豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市、新城市、湖西市、東栄町、設楽町、豊根村とする。

豊橋・東三河まちづくりデザイン会議

第5回 11月16日(土) 13:30~16:00
ゲスト 渡会一仁氏 (榊渥美フーズ代表取締役)
テーマ「東三河の地域

循環型経済を推進したい！」-スーパーあつみのフードビジネス展開から学ぶ
第6回 12月21日(土) 13:30~16:00

みんなで考え みんなでつくろう"まち"!

ゲスト 伊藤篤哉氏 (豊橋市議会 議長) テーマ「豊橋まちなかに活力! 中心市街地をテーマパークにする。みんなで方法を考えよ

芸術が地域を変える！ アールブリュットが描く未来！ ARTFES2024 全国発信 コンテストいよいよフィナーレ!!

東三河をアールブリュットの国際的聖地にすべく応募型コンテストと地域に5つの美術館(アールブリュットミュージアム)をつくる活動を続けていま

す。こころの病の方を対象にした国内では一番長い16年続く「第15回とよはし音楽祭」応募締切は11月30日(土) 発表は2025年4月12日(土) 13:00

~16:00 穂の国とよはし芸術劇場プラットにて開催予定。海外からの応募が100点以上、全国から応募できる「第6回トヨハシブリュットアートコンテスト」応募締切は12月24日(火)

発表は2025年春。※美術館づくりには寄付の協力もお願いしています。関心ある方は是非お問合せください。

とよはしチャレンジ・アスリートカップ 11/2(土)向山公園開催!

Dec. Hatch展

油彩画、人物を中心にカラフルに描く。中国、ドイツ、ベトナムの美術展に出品。期間 11月23日(土) ~ 12月25日(水) 会場 WAC アグリカフェ ギャラリー



11月		12月			
1	金	「一枚のひまぎ」展	1	日	
2	土	2023ベスト40作品 11/1~11/20 アグリカフェ ギャラリー	2	月	
3	日		3	火	
4	月		4	水	意見交換会
5	火		5	木	
6	水	市職員ワークショップ	6	金	
7	木		7	土	
8	金	ラテパパーカッション講座	8	日	
9	土		9	月	
10	日		10	火	居住支援住宅相談会
11	月		11	水	
12	火	居住支援住宅相談会	12	木	
13	水		13	金	ラテパパーカッション講座
14	木		14	土	
15	金		15	日	
16	土	まちづくりデザイン会議	16	月	
17	日		17	火	輝け未来セミナー
18	月		18	水	意見交換会
19	火	前向き終活セミナー	19	木	
20	水	意見交換会	20	金	
21	木		21	土	まちづくりデザイン会議
22	金		22	日	
23	土	Dec. Hatch展	23	月	
24	日	11/23~12/25 アグリカフェ ギャラリー	24	火	居住支援住宅相談会
25	月		25	水	クリスマス会
26	火	居住支援住宅相談会	26	木	
27	水		27	金	
28	木		28	土	仕事納め
29	金		29	日	
30	土		30	月	
			31	火	

コラム

VOL. 76

「いのちの循環！日本人として地域に生きる」

ひとりひとりの生きた証としての人生の営みは、まるで泡のようだ。大きな泡もあれば可愛い泡もある。白く清らかな泡もあれば、どす黒い泡もある。しかし、最後は、一瞬にしてすべて消滅して、みんな同じように自然に帰って

く。そこに未来は存在しない。今回は、いのちをテーマに考えてみたい。ひとりひとりの今があるのは、命のリレーの結果、そこにひとりひとりの自分自身がいる。生命体としてのひとは、38億年前の始祖から

始まり、ひまわり、ゴリラ、カワセミなど地球上の数千種類の多様な生き物も同じように同じ仲間として進化を遂げ現在に至っている。いのちをつなぐこころとは、ある意味宿命であり役割でもある。私たちひとのルーツ「ホ

モサピエンス」は、アフリカに誕生した。同じ仲間としては、ネアンデルタール人が勢力を伸ばし、生きもの社会の弱肉強食を生き抜いていた。ホモサピエンスは、格別におとり、群れて生きることを選択する。その生活は狩猟採集生

活で、移動することや動物を求めて狩りをしたり、果物や種子植物の採集が主な仕事であった。集団は週15時間程度働き、後は、仲間との団欒や、興味あることに時間を費やした。また、集団を守ることも大きな仕事であった。今の、私

たちと比べて、小集団の生活は、能力を伸ばしたり、語り合ったり、創造したりする生活はゆとりがあり、ずっと豊かではないだろうか。私たちは今、本当に生きることに対し、ひとりひとりが、人生という最高の時

間を、生まれてきた意味を知り、本人の役割を知って燃焼させているだろうか。確かに、物質的には、豊かにはなっているが、精神性はどうか。ヨーロッパより古い歴史をもつ日本列島、長い長い時間をかけて精神性を育てあ

げ、ひとつの文化とした国日本。大航海時代、産業革命は、地球上に、ホモサピエンスが長い年月をかけて、その地域の風土と気候に合わせて築いた文明と秩序を崩壊していった。マヤ文明もインカ文明もアメ

リカインディアンもアポリジニも今は見る影もない。明治維新、私たちの国は、滅亡するか存続させるか岐路に立つ。そして選択したのが、富国強兵であった。日本人の徳を、武士道と精神性に求めて散った西南の役の西郷隆盛は、後

進への声なきメッセージでもあった。その後、日本のがんばりはすこかった。しかし、そのがんばりは西列強に、不安を与える種をまく。アジアを自分たちで守ろうとする大東亜共栄圏構想。ターニングポイントがや

ってくる。第2次世界大戦、イギリスチャーチル首相は、アメリカをヨーロッパ戦線に参戦させた秘策を練る。ルーズベルト大統領が動く。まんまと罠にはまり真珠湾攻撃で、大東亜戦争が始まり1945年広島・長崎原爆投下、そ

して終戦。ここでも、日本人の知が動く。終末期の学徒動員は国の存続を願う3000人以上が特攻隊として志願する。それは、未曾有の国難の中で、日本の繁栄を望む純粋な気持ちこそが、彼らの気持ちであったのではなからうか。



そして世界は今、産業革命以来の大きな転換期にある。私たちひとりひとりに求められていることは、すべてをリセットして、ひとりひとり自分自身の現在地と未来について、静かな場所でじっくり考

えてみる必要がある。ひとりひとり自分自身のブラッシュアップに心がけ、好きなこと、興味のあること、自分がやりたいことを、過去についても幼児期、少年期、青年期、壮年期、成熟期に分けてしっかり書き出してみ

る。もうそこまで、好きなことで活躍できる社会が来ている。ドジャースの大谷翔平や将棋の藤井聡太竜王・名人(七冠)に続けと……。また、日本のこと、日本人のことをもう一度しっかり知ること。ひとりひと

り自分自身の、ご先祖様。さらにご先祖様と縦ラインのルーツの地も訪れたりして、歴史も一緒にしっかり学びかえす。私たちがここに存在することは、ずっと繋いでくれた多くの人々がいることを、体感できる

とさらに良い。将来ひとりひとり自分自身を表現する際、ルーツは大切なアイテムとなる。今までの社会は、お金、競争社会、学歴、低価格、人間ロボット、大量生産、大量販売、格差、金融バブルなど、経済のパイが膨

らみ続ける社会をつくってきた。しかし、地球は悲鳴をあげ、温暖化、気候変動と、私たちにSOSを発信。人間以外の生命体も、その変化に対して変化を続けている。世界はそれに気づいて、声を上げていくが、日本は、動こうと

安全安心な自然食ランチをお楽しみ下さい

健康の泉 水素水 無料提供 ※ボトル1000円/本 初回のみ必要となります!



MENU	価格(税込)
・コーヒー (HOT・ICE)	500円
・ティー (HOT・ICE)	500円
・ソフトドリンク (オレンジ・リンゴ等)	600円
・ハーブティー (HOT・ICE)	600円
・カレーランチ (ドリンク付)	1500円

WAC agricafe

〒440-0823 豊橋市南瓦町 14-1 TEL 0532-52-4315

社会であり、生きもの(ひと)として、生きていく上での必要な生きもの(動物・植物)は、摂取するが、どこまでもむさぼらな

い。取りつくさない。さらに、「利他の精神」(仏教)＝自分のことよりも他人のために尽くすこと、他

が、もっとも変わらないのは、市民ひとりひとりが、次の日本・地域の担い手としての意識改革にあると考える。(脱依存体質)そして脱産業革命、脱利権構造、脱中央集権をイメージする。学歴〇×社会で

は、誰もが役割を發揮できる社会(障がい者、高齢者、母子など)、手間はかかるが、ひとにやさしい地域共生社会(地域創生)の実現を図り、住みごこの良い豊橋東三河を描いていきたい。加藤政実

暮らし・仕事・地域生活なんでもワンストップ相談 たすけあい居住支援センター 低所得者・高齢者・障がい者・外国人・子育て世帯等の住宅の確保に配慮が必要な方のための支援センターです。指定居住支援法人 NPO法人たすけあい三河 豊橋市南瓦町14-1 月~土曜日 9:30~19:00 (予約制) TEL 0532-52-4315 担当: 鈴木

を知る者は富む(老子)＝満足を知ることを知っている者は、例え貧しくても精神的には豊かで、幸福であるということ。の格言がある。経済がどこまでも進行する社会ではなく、日本が江戸時代まで体験してきたエコ